

北海道観光入込客数調査報告書

平成18年度

観光入込客数（実人数）.....	1 頁
（参考）	
観光入込客数（延べ人数）.....	3 頁
来道観光客数（実人数）.....	6 頁
訪日外国人来道者数	
1 訪日外国人来道者数（実人数）.....	7 頁
2 訪日外国人来道宿泊者数（延べ人数）.....	9 頁

平成19年7月

北海道経済部観光のくにづくり推進局

北海道観光入込客数調査の内容と留意事項

1 観光客入込客数調査について

本調査は、全国観光統計基準により道が定めた「北海道観光入込客数調査要領」に基づき、各市町村が調査を行った結果を集計したもので、半期毎に実施しています。

2 調査内容

(1) 観光入込客数

ア 観光入込客数【実人数】

各市町村の観光入込客数や観光動態調査などにより推計した北海道における観光入込客の実人数

実人数：1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している場合でも、1人と数えます。

イ 観光入込客数【延べ人数】

各市町村の観光入込客数を集計した観光入込客数の延べ人数

延べ人数：市町村の実人数の単純合計

1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している場合は、5人と数えます。

(2) 来道観光客数

交通機関（航空機、フェリー、鉄道）の下り便の輸送実績を基に「来道観光客動態調査」などにより推計した来道観光客の実人数

(3) 訪日外国人来道者数

北海道を訪れた外国人について、「宿泊施設調査」などにより推計した訪日外国人来道者数の実人数

3 利用上の留意事項

(1) 今回の調査は、平成18年度（平成18年4月～19年3月）を対象に行っており、4・5月を「春」、6～9月を「夏」、10・11月を「秋」、12～3月を「冬」として、取り扱っています。

(2) 市町村毎の観光入込客数調査では、実人数を推計していますが、「支庁の計」、「圏域の計」は延べ人数となっています。

(3) 各数字は、四捨五入のため合計が合致しない場合があります。

観光入込客数（実人数）

平成18年度の観光入込客数の総数（実人数）は、4,909万人となり、前年度の4,813万人に対し、102.0%となりました。

旭山動物園人気や「花」をテーマとした「北海道デスティネーションキャンペーン（はなたび北海道）」効果に加えて、東アジアを中心とした海外からの来道者が引き続き増加していること、また、ゴールデンウィークや夏季の観光シーズンが全般的に好天に恵まれたことなどから、観光入込客数は5年振りに前年度を上回りました。

道外・道内客別にみると、道外客は659万人（構成比13.4%）で前年度の103.8%と増加となりました。道内客は4,250万人（同86.6%）で同101.7%と増加しております。

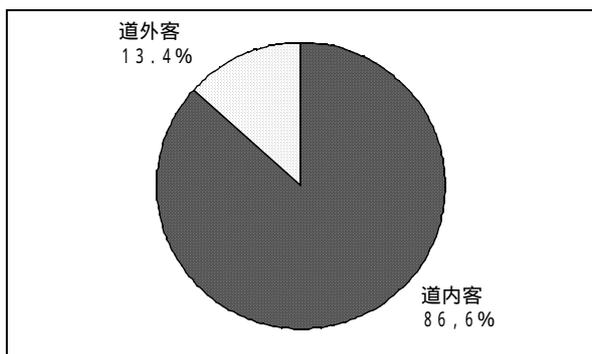
日帰り・宿泊客別にみると、日帰り客は3,395万人（構成比69.2%）で前年度の101.8%と増加となりました。宿泊客は、道外客が103.8%、道内客101.5%と増加となり、全体では1,514万人（構成比30.8%）で前年度の102.5%の増加となりました。

季節別にみると、秋季が前年度の97.5%と減少した他は、春季が同103.5%、夏季が同102.2%、冬季が103.7%と増加しました。

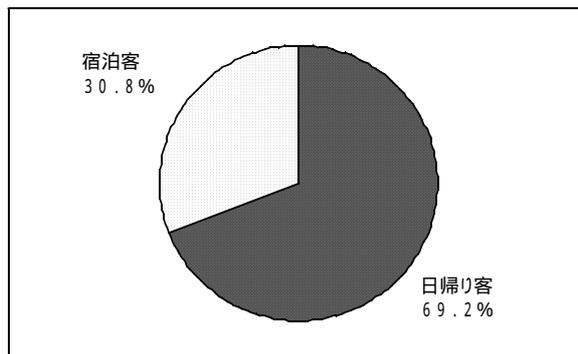
<平成18年度 観光入込客数（実人数）>

区 分	観光入込	左の内訳		季節別内訳			
		日帰り客	宿泊客	春	夏	秋	冬
道 外 客	659万人	2万人	657万人	85万人	358万人	79万人	138万人
構成比	13.4%	0.3%	99.7%	12.7%	54.3%	12.0%	20.9%
前年比	103.8%	100.0%	103.8%	104.9%	102.6%	105.3%	106.2%
道 内 客	4,250万人	3,393万人	857万人	649万人	2,157万人	571万人	873万人
構成比	86.6%	80.7%	19.3%	15.3%	50.8%	13.4%	20.5%
前年比	101.7%	101.8%	101.5%	103.3%	102.1%	96.5%	103.4%
合 計	4,909万人	3,395万人	1,514万人	734万人	2,515万人	650万人	1,011万人
構成比	100.0%	69.2%	30.8%	15.0%	51.2%	13.2%	20.6%
前年比	102.0%	101.8%	102.5%	103.5%	102.2%	97.5%	103.7%

【道内・道外客別構成比】



【日帰り・宿泊客別構成比】



【観光入込客数（実人数）の推移】

（上段：人数、下段：前年度比）

	平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	人数	うち上期								
道外客	638万人	430万人	635万人	436万人	632万人	430万人	635万人	430万人	659万人	443万人
	101.8%	101.5%	99.5%	101.3%	99.5%	98.7%	100.5%	99.9%	103.8%	103.0%
道内客	4,370万人	2,913万人	4,304万人	2,864万人	4,207万人	2,779万人	4,178万人	2,741万人	4,250万人	2,833万人
	99.0%	99.1%	98.5%	98.3%	97.7%	97.0%	99.3%	98.6%	101.7%	103.4%
日帰り客	3,498万人	2,598万人	3,442万人	2,533万人	3,348万人	2,452万人	3,336万人	2,433万人	3,395万人	2,554万人
	99.9%	99.8%	98.4%	97.5%	97.3%	96.8%	99.7%	99.2%	101.8%	105.0%
宿泊客	1,510万人	745万人	1,497万人	767万人	1,491万人	757万人	1,477万人	738万人	1,514万人	722万人
	98.4%	98.1%	99.2%	102.9%	99.5%	98.7%	99.1%	97.5%	102.5%	97.9%
計	5,009万人	3,343万人	4,939万人	3,300万人	4,839万人	3,209万人	4,813万人	3,171万人	4,909万人	3,276万人
	99.4%	99.4%	98.6%	98.7%	98.0%	97.2%	99.5%	98.8%	102.0%	103.3%

【参考】 観光入込客数（延べ人数）

1 総数

平成18年度の観光入込客数の総数は、延べ1億4,043万人で、前年度の101.0%（140万人増）となりました。

2 道外・道内客別

道外客は、4,551万人で前年度比99.5%（25万人減）道内客は、9,492万人で同101.8%（165万人増）となりました。
構成比で見ると、道外客が32.4%、道内客が67.6%となっています。

3 日帰り・宿泊客別

日帰り客は、1億1,301万人で前年度比101.3%（140万人増）宿泊客は、2,742万人で同100.0%（0.3万人増）となりました。
構成比で見ると、日帰り客が80.5%、宿泊客が19.5%となっています。

<平成18年度観光入込客数（延べ人数）>

区分	観光入込客数	前年度対比	増減数	構成比
総数	14,043万人	101.0%	140万人	100.0%
道外客	4,551万人	99.5%	25万人	32.4%
道内客	9,492万人	101.8%	165万人	67.6%
日帰り客	11,301万人	101.3%	140万人	80.5%
宿泊客	2,742万人	100.0%	0万人	19.5%

4 月別・季節別

月別で見ると、8月が最も多く全体の15.8%を占め、次いで7月が14.1%、9月11.4%の順となっています。また、前年度比では6月と10月を除く全ての月で増加し、特に2月が前年度比106.7%、4月が102.2%、9月が102.1%と増加しました。

季節別に見ると、秋季が前年度比で98.6%と減少しましたが、春季が同101.0%、夏季が同101.1%、冬季が同102.5%と増加しました。

<月別・季節別観光入込客数（延べ人数）>

区分	春		夏				上期
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
月別	690万人	1,390万人	1,338万人	1,978万人	2,219万人	1,598万人	9,214万人
構成比	4.9%	9.9%	9.5%	14.1%	15.8%	11.4%	65.6%
前年度比	102.2%	100.4%	98.3%	101.7%	101.4%	102.1%	101.0%
季節別	2,081万人		7,133万人				9,214万人
構成比	14.8%		50.8%				65.6%
前年度比	101.0%		101.1%				101.0%

区分	秋		冬				下期	年間合計
	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
月別	1,254万人	686万人	620万人	720万人	839万人	711万人	4,829万人	14,043万人
構成比	8.9%	4.9%	4.4%	5.1%	6.0%	5.1%	34.4%	100%
前年度比	97.3%	101.3%	101.8%	100.6%	106.7%	100.3%	100.9%	101.0%
季節別	1,939万人		2,890万人				4,829万人	14,043万人
構成比	13.8%		20.6%				34.4%	100%
前年度比	98.6%		102.5%				100.9%	101.0%

5 圏域別

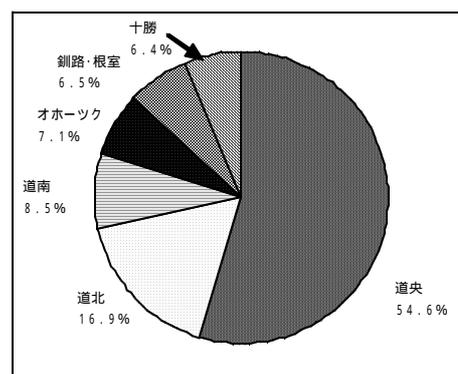
圏域別で見ると、前年度に比べ、道北圏105.4%、十勝圏104.1%と増加し、道央圏及び道南圏でも微増となりましたが、オホーツク圏や釧路・根室圏はそれぞれ94.1%、97.2%と減少しました。

なお、各圏域の特徴は次のとおりです。

- 【道 央】 恵庭市に「花ロードえにわ」や「えこりん村」など大型観光施設がオープンし、また、冬季では「サッポロさとらんど」が雪まつりの第2会場として定着したことや「世界ノルディックスキー2007」が開催されたことなどの増加要因もありましたが、暖冬・雪不足によるスキー客の減少や大型観光施設の冬期間の閉鎖などが影響し、微増にとどまりました。
- 【道 北】 「旭山動物園」人気が依然として高く、その効果が旭川市はもとより周辺市町村にも及び、前年度を大きく上回りました。
- 【道 南】 ゴールデンウィーク期間中が概ね好天であったことから、各種イベントの集客が多かったことや「新五稜郭タワー」(函館市)のオープン、「噴火湾パノラマパーク」(八雲町)の一部供用開始など増加要因はあったものの、冬季においては、暖冬・雪不足によるスキー客の減やイベントの縮小があり、年間を通しては微増にとどまりました。
- 【オホーツク】 ゴールデンウィーク前後の天候不順により、芝桜(大空町、滝上町)やチューリップ(上湧別町)などの開花時期が遅れたことや前年8月以降の知床効果による大幅増の反動により減少しました。また、流氷の接岸期間が短かったこともあり前年度を大きく下回りましたが、女満別-台北チャーター便により、台湾人観光客が大幅に増加するなど明るい話題もありました。
- 【釧路・根室】 一部地域においては、知床世界自然遺産効果があったものの、春先の低温や天候不順に加え、「旭山動物園」など人気観光地へ観光客が集中した影響により、前年度に比べ減少しました。
- 【十 勝】 「世界ラリー選手権」や「国際農業機械展・とかち食彩まつり」(帯広市)など大型イベントへの集客が多かったことや新得町にオープンした「サホロベアマウンテン」への人気が高かったことなどから、道外客を中心に前年度に比べ増加しました。

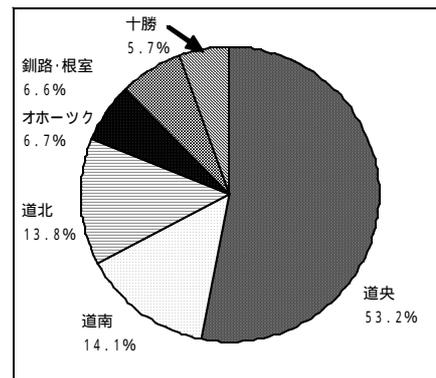
< 観光入込客数(延べ人数)圏域別構成比 >

圏 域	観光入込客数	前年度比	増減数	構成比
道 央	7,671万人	100.9%	70万人	54.6%
道 北	2,374万人	105.4%	121万人	16.9%
道 南	1,188万人	100.3%	3万人	8.5%
オホーツク	996万人	94.1%	63万人	7.1%
釧路・根室	919万人	97.2%	26万人	6.5%
十 勝	894万人	104.1%	34万人	6.4%
合 計	14,043万人	101.0%	140万人	100.0%



< 宿泊客延べ数 圏域別構成比 >

圏域	宿泊客延べ数	前年度比	増減数	構成比
道央	1,831万人	104.0%	71万人	53.2%
道南	485万人	103.6%	17万人	14.1%
道北	474万人	96.9%	15万人	13.8%
オホーツク	230万人	95.4%	11万人	6.7%
釧路・根室	227万人	94.6%	13万人	6.6%
十勝	196万人	99.0%	2万人	5.7%
合計	3,443万人	101.4%	47万人	100.0%



6 市町村別

市町村別で見ると、札幌市（定山溪を除く）が1,167万人（前年度比104.9%）で最も多く、次いで、小樽市770万人（同101.8%）、旭川市698万人（同123.6%）以下、函館市、千歳市、釧路市、洞爺湖町の順となっています。

一方、宿泊客延べ数で見ると、札幌市（定山溪を除く）が840万人（前年度比105.1%）で最も多く、次いで、函館市415万人（同105.1%）、定山溪212万人（同125.5%）以下、釧路市、登別市、上川町、帯広市の順となっています。

< 観光入込客数の多い市町村 >

順位	市町村名	入込客数	前年度比
1	札幌市(定山溪除く)	1,167万人	104.9%
2	小樽市	770万人	101.8%
3	旭川市	698万人	123.6%
4	函館市	486万人	100.4%
5	千歳市	430万人	99.0%
6	釧路市	398万人	98.1%
7	洞爺湖町	321万人	77.9%
8	登別市	309万人	100.5%
9	喜茂別町	299万人	95.4%
10	帯広市	259万人	107.5%
11	上川町	256万人	100.7%
12	札幌市(定山溪)	244万人	110.9%
13	富良野市	211万人	101.8%
14	七飯町	209万人	101.0%
15	砂川市	197万人	141.9%
16	白老町	189万人	102.2%
17	壮瞥町	176万人	97.8%
18	石狩市	173万人	99.5%
19	伊達市	170万人	97.4%
20	網走市	168万人	93.6%

< 宿泊客延べ数の多い市町村 >

順位	市町村名	宿泊客延べ数	前年度比
1	札幌市(定山溪除く)	840万人	105.1%
2	函館市	415万人	105.1%
3	札幌市(定山溪)	212万人	125.5%
4	釧路市	147万人	97.8%
5	登別市	131万人	97.0%
6	上川町	91万人	104.0%
7	帯広市	81万人	99.5%
8	北見市	81万人	92.4%
9	小樽市	77万人	98.3%
10	洞爺湖町	71万人	94.9%
11	旭川市	70万人	116.8%
12	倶知安町	68万人	104.3%
13	斜里町	60万人	99.1%
14	富良野市	58万人	112.0%
15	網走市	57万人	95.5%
16	音更町	55万人	96.7%
17	二セコ町	54万人	99.2%
18	東川町	47万人	75.9%
19	弟子屈町	42万人	92.7%
20	稚内市	41万人	98.1%

【参考】 来道観光客数（実人数）

1 概況

平成18年度の交通機関（航空機・フェリー・鉄道）の下り便の輸送実績を基に推計した来道観光客数は659万人で、前年度の635万人に対して103.8%となっています。

季節別で見ると、春季は前年度比103.7%、夏季は同102.6%、秋季は同105.3%、冬季は同106.2%と全ての季節で増加しました。

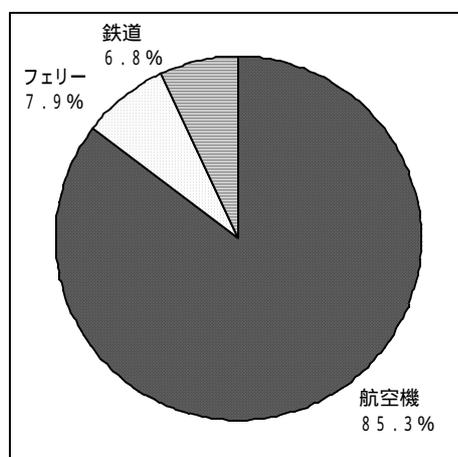
2 交通機関別の状況

交通機関別で見ると、航空機（構成比85.3%）は104.3%及び鉄道（同6.8%）は107.1%と前年を上回りましたが、フェリー（同7.9%）は96.3%と減少しました。

<平成18年度来道観光客数（交通機関別・季節別）>

区 分		合 計	構成比	春(4・5月)	夏(6～9月)	秋(10・11月)	冬(12～3月)
合 計	来道観光客数	659万人	100.0%	85万人	358万人	79万人	138万人
	構成比	100.0%		12.7%	54.3%	12.0%	20.9%
	前年度対比	103.8%		105.0%	102.6%	105.3%	106.2%
航 空 機	来道観光客数	562万人	85.3%	68万人	303万人	68万人	123万人
	構成比	100.0%		12.1%	53.9%	12.1%	21.9%
	前年度対比	104.3%		104.6%	103.1%	106.3%	107.0%
フェリー	来道観光客数	52万人	7.9%	9万人	33万人	4万人	7万人
	構成比	100.0%		17.3%	63.5%	7.7%	13.5%
	前年度対比	96.3%		100.0%	97.1%	80.0%	100.0%
鉄 道	来道観光客数	45万人	6.8%	8万人	22万人	6万人	9万人
	構成比	100.0%		17.8%	48.9%	13.3%	20.0%
	前年度対比	107.1%		114.3%	104.8%	100.0%	112.5%

【交通機関別構成比】



【参考】 訪日外国人来道者数

1 訪日外国人来道者数（実人数）

(1) 概況

平成18年度の訪日外国人来道者数は、実人数で59万650人となり、前年度の51万3,650人に対し115.0%と増加しました。

日中韓観光大臣会合（観光サミット）の北海道開催、前年に引き続きビジット・ジャパン・キャンペーン事業によるPR効果や民間事業者、関係団体などと一体となった海外プロモーション活動の推進に加え、新たな定期路線の就航や「世界ノルディックスキー2007」の開催により、前年度に比べ増加しました。

(2) 国・地域別

本道観光の主要市場であるアジア地域からの来道者は、53万4,450人で前年度（46万6,450人）の114.6%と増加しました。

韓国からの来道者は前年度比191.1%と大幅に増加し、中国も110.9%と増加しましたが、香港はほぼ前年度並み、台湾は若干の減少となっています。

また、依然として北海道へのスキー人気が高いオーストラリアからの来道者も引き続き増加となっています。

国・地域別で見ると、台湾が26万7,900人（前年度比96.8%、構成比45.4%）と最も多く、次いで、韓国が13万3,850人（同191.1%、22.7%）香港が8万6,050人（同99.5%、14.6%）の順となっています。

【台湾】 前年のビザ免除措置の恒久化などによる急増への反動をはじめ、東アジアや国内観光地との競争激化等から、やや減少となりました。

【韓国】 為替相場が全般的に円安ウォン高基調で推移していることに加え、定期路線が開設（函館 - ソウル線、新千歳 - プサン線、旭川 - ソウル線）されたことや北海道へのゴルフ人気が高いことから、来道者数は大幅に増加しました。

【香港】 香港から来日している観光客のうち約4人に1人は来道していることから、依然として北海道人気が高く、ほぼ前年度並みとなりました。

【中国】 平成17年7月以降の訪日団体旅行ビザの中国全土拡大や道内空港においてチャーター便が増便されたことなどにより増加しました。

【オーストラリア】 全国的には、オーストラリア人観光客が伸び悩む中、北海道においては依然としてニセコ、富良野方面へのスキー人気が高く、増加となりました。

<平成18年度訪日外国人来道者数(実人数)>

(単位:人)

区 分		ア ジ ア						ヨーロッパ		
		中 国	韓 国	台 湾	香 港	シンガポール	その他	小 計	ロシア	その他
春 季 (4・5月)	18年度	2,100	8,300	43,250	8,100	2,300	1,050	65,100	800	800
	17年度	1,850	3,850	35,250	7,200	1,250	550	49,950	1,050	800
	前年度比	113.5%	215.6%	122.7%	112.5%	184.0%	190.9%	130.3%	76.2%	100.0%
夏 季 (6～9月)	18年度	5,000	61,450	107,000	30,650	5,100	2,950	212,150	2,600	3,300
	17年度	5,200	40,550	114,700	30,400	4,650	1,850	197,350	2,650	3,200
	前年度比	96.2%	151.5%	93.3%	100.8%	109.7%	159.5%	107.5%	98.1%	103.1%
秋 季 (10・11月)	18年度	2,200	21,000	32,000	9,050	2,250	1,650	68,150	1,000	1,000
	17年度	2,200	7,250	37,000	8,250	1,100	700	56,500	850	950
	前年度比	100.0%	289.7%	86.5%	109.7%	204.5%	235.7%	120.6%	117.6%	105.3%
冬 季 (12～3月)	18年度	8,050	43,100	85,650	38,250	9,300	4,700	189,050	1,450	4,450
	17年度	6,400	18,400	89,850	40,650	4,800	2,550	162,650	1,350	1,900
	前年度比	125.8%	234.2%	95.3%	94.1%	193.8%	184.3%	116.2%	107.4%	234.2%
合 計	18年度	17,350	133,850	267,900	86,050	18,950	10,350	534,450	5,850	9,550
	17年度	15,650	70,050	276,800	86,500	11,800	5,650	466,450	5,900	6,850
	前年度比	110.9%	191.1%	96.8%	99.5%	160.6%	183.2%	114.6%	99.2%	139.4%

		北 米		中 南 米	ア フ リ カ	オセアニア		不 明	合 計
		米 国	カ ナ ダ			オーストラリア	その他		
春	18	1,050	150	50	50	350	50	300	68,700
	17	1,200	100	50	50	150	50	450	53,850
	比	87.5%	150.0%	100.0%	100.0%	233.3%	100.0%	66.7%	127.6%
夏	18	4,250	500	200	250	550	150	1,500	225,450
	17	3,350	400	300	200	500	350	1,750	210,050
	比	126.9%	125.0%	66.7%	125.0%	110.0%	42.9%	85.7%	107.3%
秋	18	1,450	200	100	50	2,000	50	800	74,800
	17	1,100	100	50	50	250	50	550	60,450
	比	131.8%	200.0%	200.0%	100.0%	800.0%	100.0%	145.5%	123.7%
冬	18	2,950	500	50	50	20,050	550	2,600	221,700
	17	3,100	350	50	0	18,000	250	1,650	189,300
	比	95.2%	142.9%	100.0%	- %	111.4%	220.0%	157.6%	117.1%
計	18	9,700	1,350	400	400	22,950	800	5,200	590,650
	17	8,750	950	450	300	18,900	700	4,400	513,650
	比	110.9%	142.1%	88.9%	133.3%	121.4%	114.3%	118.2%	115.0%

【外国人来道者数(実人数)の推移】

(上段:人数(人) 下段:前年度比(%))

国 名 等	平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		
	うち上期		うち上期		うち上期		うち上期		うち上期		
ア ジ ア	台湾	133,200 111.5	67,300 122.6	119,750 89.9	45,050 66.9	208,600 174.2	100,200 222.4	276,800 132.7	149,950 149.7	267,900 96.8	150,250 100.2
	韓国	41,900 150.4	29,000 156.8	61,200 146.1	46,300 159.7	63,850 104.3	42,750 92.3	70,050 109.7	44,400 103.9	133,850 191.1	69,750 157.1
	香港	55,450 120.8	26,000 234.2	56,600 102.1	25,900 99.6	82,750 146.1	39,400 152.1	86,500 104.5	37,600 95.4	86,050 99.5	38,750 103.1
	中国	5,200 133.3	2,500 138.9	5,800 111.5	2,450 98.0	12,050 207.8	4,950 202.0	15,650 129.9	7,050 142.4	17,350 110.9	7,100 100.7
	その他	7,050 129.4	3,600 138.5	8,200 116.3	3,400 94.4	11,250 137.2	3,850 113.2	17,450 155.1	8,300 215.6	29,300 167.9	11,400 137.3
米 国	7,500 107.9	4,500 115.4	7,850 104.7	4,700 104.4	9,100 115.9	4,300 91.5	8,750 96.2	4,550 105.8	9,700 110.9	5,300 116.5	
ロシア	6,800 111.5	4,100 117.1	6,950 102.2	4,600 112.2	6,700 96.4	4,200 91.3	5,900 88.1	3,700 88.1	5,850 99.2	3,400 91.9	
オーストラリア	2,230 143.9	550 110.0	7,550 338.6	600 109.1	14,650 194.0	600 100.0	18,900 129.0	650 108.3	22,950 121.4	900 138.5	
その他(不明含む)	20,020 105.6	14,550 147.0	19,880 99.3	14,250 97.9	18,100 91.0	11,050 77.5	13,650 75.4	7,700 69.7	17,700 129.7	7,300 94.8	
合 計	279,350 118.3	152,100 142.5	293,780 105.2	147,250 96.8	427,050 145.4	211,300 143.5	513,650 120.3	263,900 124.9	590,650 115.0	294,150 111.5	

2 訪日外国人来道宿泊者数（延べ人数）

(1) 国・地域別

平成18年度の訪日外国人来道宿泊者数は、176万6,650人で、前年度比108.3%と増加しました。

国・地域別で見ると、台湾が86万2,543人（前年度比94.3%）と最も多く、次いで香港が30万8,039人（同100.0%）、韓国が22万6,688人（同173.1%）の順となっています。

<平成18年度訪日外国人来道宿泊者数（延べ人数）>

（単位：人）

区 分	ア ジ ア							ヨ ー ロ ッ パ			
	中国	韓国	台湾	香港	シンガポール	その他	小計	ロシア	イギリス	フランス	ドイツ
18年度	46,176	226,688	862,543	308,039	70,677	38,456	1,552,579	13,705	6,955	4,263	6,632
17年度	41,679	130,925	914,882	307,994	42,293	20,505	1,458,278	9,867	4,734	2,988	3,167
前年度比	110.8%	173.1%	94.3%	100.0%	167.1%	187.5%	106.5%	138.9%	146.9%	142.7%	209.4%

区 分	ヨーロッパ		北 米		中南米	アフリカ	オセアニア		不明	合 計
	その他	小計	米 国	カナダ			オーストラリア	その他		
18年度	17,405	48,960	35,895	5,037	1,399	1,349	99,158	2,931	19,342	1,766,650
17年度	13,287	34,043	31,074	3,480	1,465	1,039	83,552	2,604	15,643	1,631,178
前年度比	131.0%	143.8%	115.5%	144.7%	95.5%	129.8%	118.7%	112.6%	123.6%	108.3%

(2) 月別・季節別

月別で見ると、2月が最も多く、全体の14.1%を占め、次いで7月の11.8%、8月の11.1%となっています。前年度に比べると9月、11月、1月を除き上昇しており、最も伸び率が高い月は4月で135.2%、次いで5月が129.2%、2月が125.9%と増加になっています。

季節別で見ると、春季が前年同期の131.7%と大幅に増加し、他の季節も、秋季109.5%、冬季107.9%、夏季102.8%とそれぞれ増加しています。

<月別・季節別訪日外国人来道宿泊者数（延べ人数）>

（単位：人）

区 分	春		夏				上期計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
月 別	85,660	114,848	138,188	208,362	195,445	121,714	864,217
構成比	4.8%	6.5%	7.8%	11.8%	11.1%	6.9%	48.9%
前年度比	135.2%	129.2%	101.6%	109.8%	101.0%	96.2%	108.3%
季節別	200,508		663,709				864,217
構成比	11.3%		37.6%				48.9%
前年度比	131.7%		102.8%				108.3%

区 分	秋		冬				下期計	年間合計
	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
月 別	134,493	93,864	173,765	142,970	248,272	109,069	902,433	1,766,650
構成比	7.6%	5.3%	9.8%	8.1%	14.1%	6.2%	51.1%	100.0%
前年度比	119.8%	97.4%	106.4%	85.8%	125.9%	111.9%	108.3%	108.3%
季節別	228,357		674,076				902,433	1,766,650
構成比	12.9%		38.2%				51.1%	100.0%
前年度比	109.5%		107.9%				108.3%	108.3%

(3) 圏域別

圏域別で見ると、釧路・根室圏を除く圏域において、前年度比で増加となりました。オホーツク圏が134.7%と最も高く、次いで道央圏が109.6%、道北圏が108.7%の順となっています。

< 圏域別訪日外国人来道宿泊延べ数 >

(単位：人、%)

圏域	ア ジ ア						小計
	中国	韓国	台湾	香港	シンガポール	その他	
道南	2,234	8,985	43,346	7,622	3,174	1,517	66,878
道央	38,975	185,623	521,002	245,764	37,234	31,708	1,060,306
道北	2,137	18,366	137,594	32,911	11,366	1,719	204,093
オホーツク	1,003	4,245	18,880	9,006	530	751	34,415
十勝	500	3,672	90,373	6,279	9,615	1,449	111,888
釧路・根室	1,327	5,797	51,348	6,457	8,758	1,312	74,999
合計	46,176	226,688	862,543	308,039	70,677	38,456	1,552,579

圏域	ヨ ャ ロ ッ パ					小計	北米	
	ロシア	イギリス	フランス	ドイツ	その他		米国	カナダ
道南	1,029	597	269	462	811	3,168	2,522	220
道央	7,400	4,560	2,767	4,923	13,725	33,375	26,955	3,832
道北	1,435	472	366	362	1,414	4,049	2,456	480
オホーツク	438	130	135	672	304	1,679	1,412	96
十勝	155	873	522	64	757	2,371	645	161
釧路・根室	3,248	323	204	149	394	4,318	1,905	248
合計	13,705	6,955	4,263	6,632	17,405	48,960	35,895	5,037

圏域	中南米	アフリカ	オセアニア		不明	合計	17年度	前年度比
			オーストラリア	その他				
道南	122	26	464	121	643	74,164	72,351	102.5
道央	1,153	1,055	85,468	2,226	15,238	1,229,608	1,122,268	109.6
道北	69	126	10,369	131	1,181	222,954	205,056	108.7
オホーツク	15	24	299	396	375	38,711	28,732	134.7
十勝	13	21	2,266	30	1,416	118,811	117,641	101.0
釧路・根室	27	97	292	27	489	82,402	85,130	96.8
合計	1,399	1,349	99,158	2,931	19,342	1,766,650	1,631,178	108.3

(4) 市町村別

市町村別で見ると、有名温泉地を抱える市町村が上位を占めており、札幌市が55万9,272人(前年度比103.2%)で最も多く、次いで登別市が18万380人(前年度比120.6%)、上川町11万6,302人(前年度比107.8%)、洞爺湖町9万9,481人(前年度比103.2%)となっています。

【宿泊延べ数の多い上位5カ国】

順位	国名	宿泊延べ数	前年度比
1	台湾	862,543人	94.3%
2	香港	308,039人	100.0%
3	韓国	226,688人	173.1%
4	オーストラリア	99,158人	118.7%
5	シンガポール	70,677人	167.1%

【宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	559,272人	103.2%
2	登別市	180,380人	120.6%
3	上川町	116,302人	107.8%
4	壮瞥町	100,514人	110.4%
5	洞爺湖町	99,481人	103.2%

【台湾の宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	248,901人	88.9%
2	登別市	99,787人	106.4%
3	上川町	99,031人	107.8%
4	壮瞥町	56,930人	93.7%
5	音更町	47,694人	85.8%

【香港の宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	132,393人	97.2%
2	洞爺湖町	34,181人	91.9%
3	登別市	19,488人	87.8%
4	倶知安町	14,187人	344.9%
5	小樽市	12,689人	77.8%

【韓国の宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	64,972人	169.5%
2	登別市	45,866人	208.6%
3	壮瞥町	29,878人	154.6%
4	留寿都村	11,032人	85.8%
5	洞爺湖町	10,165人	340.4%

【中国の宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	18,673人	82.4%
2	壮瞥町	4,835人	161.2%
3	洞爺湖町	3,972人	149.7%
4	登別市	3,293人	196.8%
5	千歳市	1,853人	88.9%

【ロシアの宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	3,338人	171.0%
2	小樽市	2,057人	153.3%
3	根室市	1,726人	69.5%
4	釧路市	1,352人	80.8%
5	稚内市	1,227人	112.5%

【米国の宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	16,594人	117.0%
2	登別市	2,427人	104.8%
3	函館市	2,396人	105.7%
4	千歳市	2,043人	88.1%
5	苫小牧市	1,900人	203.2%

【オーストラリアの宿泊延べ数の多い市町村】 【シンガポールの宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	倶知安町	70,335人	104.6%
2	富良野市	8,960人	211.2%
3	札幌市	5,456人	194.6%
4	留寿都村	4,333人	213.7%
5	二セコ町	3,720人	124.5%

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	20,266人	267.2%
2	釧路市	8,579人	235.4%
3	上川町	6,688人	219.9%
4	新得町	4,898人	365.5%
5	音更町	4,671人	183.6%

注) この頁の札幌市は、定山溪を含みます。

北海道観光入込客数調査報告書 [平成18年度]

平成19年7月
北海道経済部観光のくにつくり推進局
札幌市中央区北3条西6丁目
電話番号 011-231-4111 内線 26-568
ダイヤルイン 011-204-5302
F A X 011-232-4120
